

第1回 若松区響灘地区まちづくり推進連絡会議 議事概要

1 開催概要

- ・ 日時： 令和8年8月25日（火） 15:30～17:00
- ・ 場所： 若松区役所 3階 特別会議室
- ・ 出席者： 若松あつまる会、響灘工業団地自治会、エコタウン連絡会議、響灘地区立地企業、行政機関（北九州市各局、若松警察署）、早稲田大学理工学術院情報生産システム研究科

2 趣旨・目的

北九州市の成長を牽引する重要な産業拠点である若松区響灘地区において、近年の相次ぐ企業進出に伴うさらなる雇用創出と地域経済の発展が期待される中、通勤環境や飲食環境など、働く人にとってより魅力的な環境づくりが求められている。

本会議は、企業にも働く人にも選ばれる産業拠点「響灘」の実現に向け、企業と行政が一体となって地域のさらなる魅力向上を目指すものである。

3 主な報告

- ・ ひびき灘戦略室の役割と取り組みについて
- ・ 交通対策について：共同送迎バスの検討、市営バスの利用状況、交差点改良工事概要
- ・ 産業団地のまちづくりについて：みなと緑地PPPの取組、臨港道路改修工事、新たな企業立地、オープントップバス

4 主な意見交換

- ・ 防災・インフラ： 近年の豪雨を踏まえ冠水対策の継続的強化を求める意見が出された。
- ・ 就業環境とバス利用： 共同送迎バスについては、人材確保面で期待がある一方、多様な勤務体系や現場労働者ニーズ(利便性や設備面)への対応が課題として挙げられた。
- ・ 人材確保・広報： 地区の採用力を高めるため、まちづくりの取り組みを若者や教育機関へ積極的に発信していく必要性が共有された。
- ・ 民間連携： 民間ビジネスを活用した福利厚生施設（ジムやシャワー室等）のニーズ把握について、企業ネットワークを活用して調査することを確認した。